

令和2年度 農作物病害虫発生予察4月月報

令和2年(2020年)5月1日
山口県病害虫防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
4.1	11.4	11.5	△ 0.1	17.1	17.2	△ 0.1	5.3	6.1	△ 0.8
4.2	11.5	12.6	△ 1.1	19.4	18.4	1.0	4.5	7.2	△ 2.7
4.3	10.7	13.5	△ 2.8	16.6	19.3	△ 2.7	5.3	8.0	△ 2.7
4.4	14.7	14.3	0.4	20.1	20.1	0.0	10.2	8.8	1.4
4.5	11.9	15.2	△ 3.3	17.6	21.0	△ 3.4	6.6	9.6	△ 3.0
4.6	14.2	16.1	△ 1.9	22.6	22.0	0.6	6.8	10.5	△ 3.7
平均・計	12.4	13.9	△ 1.5	18.9	19.7	△ 0.8	6.5	8.4	△ 1.9
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
4.1	17.0	25.9	△ 8.9	36.1	28.1	8.0			
4.2	0.0	28.0	△ 28.0	51.3	29.1	22.2			
4.3	48.5	29.8	18.7	26.3	29.6	△ 3.3			
4.4	50.5	30.1	20.4	26.5	30.3	△ 3.8			
4.5	0.0	29.5	△ 29.5	41.9	31.2	10.7			
4.6	0.0	29.5	△ 29.5	48.5	31.2	17.3			
平均・計	116.0	172.8	△ 56.8	230.6	179.5	51.1			

II 作物の生育状況

- (1) ムギ類 : 暖冬の影響で出穂期は平年より1~2週間程度早まっている。3月末以降に出穂したものは4月の低温により出穂期から開花期まで2週間程度かかっているところもある。
- (2) ナシ : 開花は平年に比べると6日程度早くなった。開花期間中、気温が低めに推移したために開花期間が長くなった。一部産地で降霜による被害が認められた。
- (3) タマネギ : 暖冬の影響で例年に比べ生育が早く推移している。早生は4月下旬、中生は5月中旬から出荷見込みである。
- (4) イチゴ : 生育は概ね順調で、5月末まで出荷が続く見込みである。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2020年4月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ イネミズゾウムシ	予察灯(県内4か所、4月1日～4月27日合計)における誘殺数は0頭(平年0.2頭)で平年並みであった。	—	—
コムギ (調査ほ場数:17) 赤かび病 うどんこ病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—
黄斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率29.4%(前年17.6%)、発病茎率16.2%(前年9.2%)、発病度4.8(前年2.3)であった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率29.4%(前年23.5%)、発病茎率29.4%(前年11.1%)、発病度8.8(前年2.8)であった。	県内全域	多 83 中 332 計 415

2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀:9)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年3.7%)、発病葉率0%(平年0.1%)、発病新梢率0%(平年0%)で平年並みであった。	—	—
黒星病	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—
赤星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年2.3%)、発病葉率0%(平年0.2%)で平年並みであった。	—	—
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年2.1%)、寄生葉率0%(平年0.0%)で平年並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年5.9%)、寄生新梢率0%(平年0.1%)で平年並みであった。	—	—
チュウゴクナシキジラミ	下旬の巡回調査では、発生が認められず、平年並みであった。	—	—
ナシヒメシンクイ	フェロモントラップ(萩市小川、4月1日～4月25日合計)における誘殺数は74頭(平年109.1頭)で平年並みであった。	—	—
キウイフルーツ (調査ほ場数:3) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(前年0%)、発病葉率0%(前年0%)であった。	—	—

3 野菜

2020年4月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
イチゴ (調査ほ場数：20) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年31.3%)、発病株率0.4% (平年6.8%)、発病葉率0.1% (平年2.4%)、発病果率0.1% (平年1.0%)で平年に比べ少なかった。	県内全域	少	10
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年22.0%)、発病株率0.6% (平年1.5%)、発病果率0.1% (平年0.4%)で平年に比べ少なかった。	県内全域	少	10
菌核病	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平年17.6%)、寄生株率5.5% (平年2.3%)で平年に比べやや多かった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	中	5
			少	10
			計	15
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率70.0% (平年51.5%)、寄生株率27.6% (平年25.6%)で平年に比べやや多かった。主要種はナミハダニであった。	県内全域	甚	5
			多	5
			中	26
			少	36
			計	72
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年38.0%)、寄生株率5.9% (平年17.4%)で平年に比べやや少なかった。主要種はオンシツコナジラミであった。	県内全域	甚	5
			少	21
			計	26
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0% (平年42.3%)、寄生花率16.7% (平年7.2%)で平年に比べ多かった。主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	甚	26
			多	10
			中	5
			少	21
			計	62
タマネギ (調査ほ場数：中旬 26、下旬24) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率26.9% (平年7.3%)、発病株率4.6% (平年1.2%)で平年に比べやや多かった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年14.6%)、発病株率7.2% (平年6.1%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	多	15
			中	7
			少	37
			計	59
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年5.6%)、発病株率0% (平年0.4%)で平年並みであった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.8%)、発病株率0% (平年0.2%)で平年並みであった。	—	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
タマネギ 腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率15.4% (平年9.3%)、発病株率0.6% (平年0.4%) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.2% (平年7.4%)、発病株率0.8% (平年0.3%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中	15
			少	15
			計	30
軟腐病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—	—
ポトリチス属菌による葉枯れ症 (白斑葉枯病)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.9%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.0%)、発病株率0% (平年0.5%) で平年並みであった。	—	—	—
萎黄病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.4%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—	—
さび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.7%)、発病株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)、発病株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—	—
ネギアザミウマ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年10.5%) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年24.3%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	15

お問い合わせ先
山口県病害虫防除所
TEL (083) 927-4006
E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp